

## 物語文を読むひと

名劇

学習口

## ポイント

- えがかれている場面の様子を読み取りましょう。
- 登場人物の気持ちを読み取りましょう。

## 問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

《嘉十は、痛めた足の治りようのために温泉へ行く途中、野原で一休みして栃の  
実の団子を食べ、残した団子を、鹿に食わせてやろうと置いて行きました。》  
ところが少し行ったとき、嘉十はさっきのやすんだところに、手拭を忘れて来たの  
に気がつきましたので、急いでまた引返しました。あのはんのきの黒い木立がじき  
近くに見えていて、そこまで戻るぐらい、なんの事でもないようでした。

けれども嘉十はぴたりとたちどまってしまいました。

それはたしかに鹿のけはいがしたのです。

鹿が少なくとも五六疋、湿っぽいはなづらをずうっと延ばして、しずかに歩いてい  
るらしいのでした。

嘉十は①すすきに触れないように気を付けながら、爪立てをして、そっと苔を踏ん  
でそっちの方へ行きました。

たしかに鹿はさっきの栃の団子にやってきたのでした。

「はあ、鹿等あ、すぐに来たもな。」と嘉十は咽喉の中で、笑いながらつぶやきました。  
そしてからだをかがめて、そろりそろりと、そっちに近よって行きました。

一むらのすすきの陰から、嘉十はちよっと顔をだして、※またひっ込めました。  
六疋ばかりの鹿が、さっきの芝原を、ぐるぐるぐるぐる環になって廻っているのです。  
た。嘉十はすすきの隙間から、息をこらしてのぞきました。

【太陽が、ちよと一本のはんのきの頂にかかっていたので、その梢はあやしく  
青く光り、まるで鹿の群を見おろしてじっと立っている青いきもののようにおもわ  
れました。すすきの穂も、一本ずつ銀いろにかがやき、鹿の毛並がことにその日はり  
っぱでした。】

嘉十はよろこんで、そっと片膝をついてそれに見とれました。

鹿は大きな環をつくって、ぐるぐるぐるぐる廻っていました。よく見るとどの鹿

も環のまんなかの方に気がとられているようでした。その証拠には、頭も耳も眼もみんなそっちへ向いて、おまけにたびたび、いかにも引っぱられるように、よろよろと二足三足、環からはなれてそっちへ寄って行きそうにするのでした。

もちろん、その環のまんなかには、さっきの嘉十の枡の団子がひとかけ置いてあったのですが、鹿どものしきりに気にかけているのは決して団子ではなくて、そのとなりの草の上にくの字になって落ちている、嘉十の白い手拭らしいのです。<sup>②</sup> 嘉十は痛い足をそと手で曲げて、苔の上にきちんと座りました。

〈宮沢賢治「鹿踊りのはじまり」より〉

(1) — 線① — すすきに触れないように気を付けながら、爪立てをして、そつと苔を踏んでそっちの方へ行きました」とは、嘉十のどういう様子を表していますか。次の文の□に入るふさわしいことばを書いて答えなさい。

「嘉十が、ようにしながら、「そっち」の方へ行く様子。」

(2) ※に入ることはとして最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア おもしろくて  
イ がっかりして

ウ こわくなって  
エ びっくりして

(3) 本文中の【 】の部分で使われている表現上のくふうの説明として最もふさわしいものを次から選**び**、記号で答えなさい。

ア　ことばをふつうとはちがう順番でならべている。

イ あるものを、別のものにたとえて表現している。

同じことをくり返して、意味を強調している。

工 ものの名前を表すことばで文を終わらせている。

(4) —線②「嘉十は痛い足をそつと手で曲げて、苔の上にきちんと座りました」とは、どういうことを表していますか。次から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア 嘉十が、鹿たちの様子をじっくり見ようと、座り直したこと。

イ  
嘉十が、飛び出して手拭を取り戻そうと、身構えたこと。

ウ 嘉十が、足があまりにも痛むので、姿勢しせいを変えたこと。

工 嘉十が、どの鹿を狩ろうかと、考え込み始めたこと。

10

物語文を読むこと

問題

解答	アドバイス
<div data-bbox="1767 225 1832 288">◆</div> <div data-bbox="1718 272 1756 576">(例) 鹿に気付かれない</div> <div data-bbox="1572 225 1706 320">(1) エ (2) イ (3) ア (4)</div>	<div data-bbox="1767 639 1832 703">◆</div> <div data-bbox="1671 639 1769 1366">(1) 嘉十<sup>かじゅう</sup>が、音を立てないようにしていることを読み取りましょう。</div> <div data-bbox="1572 639 1671 1382">(2) 「ちょっと顔をだして」「またひっ込<sup>こ</sup>めました」や、「息をこらしてのぞきました」などから考えましょう。</div> <div data-bbox="1426 639 1572 1366">(3) 「梢<sup>しずえ</sup>はあやしく青く光り、まるで鹿<sup>しか</sup>の群を見おろしてじっと立っている青いいきもの<sup>しずえ</sup>のようにおもわれました」とあります。</div> <div data-bbox="1328 639 1426 1366">(4) 嘉十が、鹿たちに、「よろこんで」「見とれました」とあることなどから考えましょう。</div>